果樹園だより

11月

徳島県立池田高等学校三好校　　「ありがとう」を大切に！！

☆☆認定こども園との交流☆☆

昨年も実施した認定こども園との交流、今年もクリ拾いを予定していましたが、クリが早く落果したので、実施する日にはすでにクリがなくなってしましました。それで今年は交流会と題して、スクリーンを使った「クリのお話」を紙芝居風にして園児に聞かせてあげました。

そのあと、イガのむき方や、虫の幼虫がクリから出てきた穴を実際に見てもらいました。その際、園児たちは興味津々で前に前に身を乗り出して来るほどでした。

最後に園児たちに小さなお土産を渡すと、園児たちからもかわいい絵をお礼の品としていただきました。






☆☆ユズ畑周辺の除草☆☆



３年生の実習でユズ畑周辺の除草を行いました。３年生なると、刈り払い機の使い方も慣れたもので、予定していた時間より早く終わりました。刈った草はレーキで集め、草刈りカートで粉砕しました。

☆☆マルシェでの販売実習☆☆



10月18日（日）、とことん箸蔵で開催されたマルシェに参加し、販売実習をしました。畜産や食品、森林の各専攻からの商品も預かり、販売しました。各商品は早々に売り切れになるなど好評でした。

生徒たちは長時間の販売に疲れたようでしたが、この経験と反省が11月28日（土）の楓祭につながることを期待しています。

☆☆学習用ナシ棚ネット外し☆☆




雨の日が続いたり、クリ拾いの作業があったりして、できていなかった学習用ナシ棚のネット外しをしました。このナシ棚で実ったナシはすべて獣害にあい、収穫できませんでした。

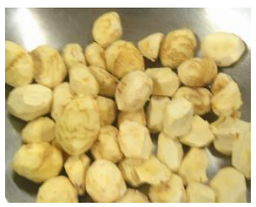
ネットを外した後は除草し、すっきりしたナシ棚にもどりました。

☆☆クリの鬼皮・渋皮むき☆☆

クリの表面にある硬い皮を鬼皮といい、その下にある薄い皮を渋皮といいます。実は鬼皮がクリの実で、私たちが食べているのは種なのです。クリはこの皮むきが大変です。なのでむいたクリが販売されているとうれしいですよね。

皮むきには専用のハサミを使って、まず鬼皮をむき、渋皮を削るように取っていきます。丁寧に一つ一つ皮をむいていきます。１日の作業でむけるクリは少ないので、何日もかけてこの作業をします。むいたクリは冷凍保存しておき、楓祭で販売します。



☆☆ウメのせん定☆☆



果樹園の落葉樹も葉が落ち始めました。ウメはほぼ落葉したので、せん定を始めました。老木なので枝に力をかけすぎると折れるおそれがあります。そのことに注意して、せん定を進めていきました。せん定はこの日だけでなく、まだまだ続きます。

☆☆タヌキの出没☆☆



ウメのせん定実習の際、果樹園内をタヌキが通り過ぎました。武市先生が言った「タヌキがおる」の一言で、少しの間、せん定の手を止め、タヌキの行方を見届けました。

タヌキの出没はこの日以外にも、ユズ畑やご近所の庭先でありましたが、今回のタヌキはゆっくりとした動きだったので、じっくり見ることができました

☆☆水たまりの解消☆☆

以前から問題になっていた管理棟倉庫前の水たまり、要望していた応急処置の工事が終わり、きれいになりました。これまでは排水用の溝を掘って対応してきました。これからは、その手間が必要なくなりました。

一見土を入れて固めただけの工事のように見えますが、土にセメントを混ぜているので強度があり、数年はこれで問題ないということでした。



